

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 13 日

評価対象事業		評価者	学校施設課長 下澤 敦		
教育-19	重点事業	中学校施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	学校施設課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の整備	

1 事業の目的

対象	市立中学校9校
意図	中学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため
効果	生徒の安全・安心な教育環境を整える

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校3校のトイレ環境改善のための改修業務委託について、平成30年度(2018年度)から令和2年度(2020年度)まで3か年の事業として実施した。 ・トイレ環境改善業務委託に伴う手広中学校の仮設トイレ賃借を行った。 ・岩瀬中学校特別支援学級教室改修工事を実施した。 ・大船中学校の改築事業に係る損失補償を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	3,350人		3,317人		3,438人			
事業の対象者数		3,350人		3,317人		3,438人		
運営資源状況	決算値(千円)	502,843	376,128		当初予算(千円)	631,497		
	国県支出金	54,025	6,156		国県支出金			
	地方債	316,900	310,900		地方債	473,600		
	その他				その他	153,897		
	一般財源	131,918	59,072		一般財源	4,000		
	人員配置数	1.4	1.5		人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	10,822	11,889		人件費(千円)	11,866		
事業経費運営	総事業費(千円)	513,665	388,017		総事業費(千円)	643,363		
	市民1人当りの経費(円)	2,913	2,199		市民1人当りの経費(円)	3,643		
	対象者1人当りの経費(円)	153,333	116,978		対象者1人当りの経費(円)	187,133		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	見直しの内容
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	施設の改修等により教育環境の改善を図るためには、予算規模の縮小は困難である。
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	生徒の安全・安心な教育環境の改善を図るため、緊急性や優先度を考慮しながら計画的な施設整備に努めている。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設老朽化状況調査結果等を基に、今後の学校施設のあり方等の検討を進め、学校施設整備計画を策定する。 トイレの改修を加速化させる「トイレ環境改善業務委託」により、10校18系統(小学校5校9系統、中学校5校9系統)のトイレを改修する。 	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	生徒の安全・安心な教育環境の改善を図るため、御成中学校外2校のトイレ改修を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設老朽化状況調査結果等を基に、教育委員会における学校施設整備の基本方針である学校施設整備計画を策定する。 第一中学校外3校のトイレ改修を行う。 図書室に冷暖房設備を設置する。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	普通教室冷暖房設備設置状況 ○:全中学校設置 △:一部中学校設置 ×:全中学校未設置								
団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市では普通教室への冷暖房設備設置が令和元年度(2019年度)までに完了している。 本市では平成29年度(2017年度)に全中学校への設置が完了している。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	普通教室への冷暖房設備設置	単位	校	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成29年度(2017年度)に全8校(改築により設置済みの大船中を除く)設置完了。
計画通り平成29年度(2017年度)までに中学校全9校の普通教室に冷暖房設備を設置する	目標値	-	-	6	2	-	-	
	実績値	-	-	6	2	-	-	
	達成率	-	-	100.0%	100.0%	-	-	
指標の内容	トイレの改修	単位	系統	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和2年度(2020年度)までにすべての改修を完了する。令和2年度(2020年度)は、前年度からの繰越した1系統を含む5系統の改修を行う。
5校9系統のトイレが未改修(平成30年度(2018年度)末時点)だが、令和2年度(2020年度)までに全て改修を行う	目標値	1	-	-	-	1	5	
	実績値	1	-	-	-	1	4	
	達成率	100.0%	-	-	-	100.0%	80.0%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室への冷暖房設備設置については、計画どおり事業が完了した。 トイレの改修については、従来の直接施工による手法から、設計施工を一括して委託する新たな手法に変更したため、事業の加速化が図られ、令和2年度(2020年度)までの3か年で5校9系統を改修する計画としている。
-----------------------	--